活かした産業振興

山形県知事を囲む産官懇談会

ごあいさつ

自然と文明の調和のもと 発展へ

山形県知事　吉村　美栄子氏

山形県の企業はほとんどが中小企業です。中小企業の皆様方に発展していただく、そして元気になっていただくことが山形県の発展につながります。山形県の資源を活かしながら発展をさせていきたいと強く思っているところです。

「自然と文明が調和した理想郷山形」というビジョンを掲げております。これをいかに実現していくか。まず自然は豊かであります。人間が関わりさまざまな事業を行っていくということ、それを文明という言葉で総称するのであれば、ここが少し足りない。そんな思いであります。県内に人が定着していけるそうした環境をつくっていくことが大事だと考えています。

「産業振興」と「地域再生」。この二つを大きな視点としてもちながら、4本の成長戦略を進めています。産業界の皆さまに直結するところとして、成長戦略の一つには「中小企業の振興」掲げています。具体的には2016年までに製造業付加価値額1兆円の達成を目標に掲げています。意欲のある企業を一段と支援する新たな補助金制度なども設けました。中小企業の相談窓口も充実させています。県企業振興公社と一体になって、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

16年には山形県で「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」が開催されます。本日ご出席の皆さまにもご協力をお願い申し上げます。最後に本県の産業界を代表する皆さまから忌憚のないご意見をいただき、今後の県政に役立てていきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

県側出席者と質問者

〈山形県〉
山形県知事　吉村　美栄子氏
商工労働観光部長　大澤　賢史氏
産業政策課長　平山　雅之氏
中小企業振興課長　泉　洋之氏
工業戦略技術振興課長　木村　和浩氏
雇用対策課長　小関　正弘氏
技能五輪・アビリンピック推進室長　須貝　幸司氏

〈質問者〉
エムテックスマツムラ会長　松村　英一氏
スズキハイテック社長　鈴木　喜代壽氏
伊藤製作所社長　伊藤　明彦氏
片桐製作所社長　片桐　鉄哉氏

〈日刊工業新聞社〉
取締役編集局長　竹本　祐介
〈司会〉日刊工業新聞社山形支局長　大矢　修一

（順不同）

山形県産業政策の方向性

山形産業人クラブ（松村英一会長＝エムテックスマツムラ会長）は日刊工業新聞社と共催で、8月4日に「山形県知事を囲む産官懇談会」を山形市のパレスグランデールで開いた。「『山形の強み』を活かした産業振興」をテーマに今後の産業政策の方向性、有機エレクトロニクス産業集積の促進、自動車関連産業の育成、中小企業振興など、産業の持続的な成長に向けた山形県の対応について知事の考えを聞いた。

製造業を一貫支援

エムテックスマツムラ会長　松村　英一氏

県内経済は震災後の復興需要などを背景に緩やかな景気回復が進みつつあるように感じます。ただ景気回復の実感は、大企業の海外生産の拡大など地域の中小企業の景気回復はまだまだ苦しい状況にあると認識しています。

今後の人口減少の問題もクローズアップされています。こうした中、山形県は2015年度から5年先をにらんだ次期産業振興プランの策定に乗り出しました。競争力の高い産業群の形成に向けて、本県の「強み」を活かした産業政策が一段と求められています。

今後の産業政策の基本的な考えを教えて下さい。

吉村知事　私は「自然と文明が調和した理想郷山形」を実現するという将来ビジョンを示しています。その実現に向けて「産業の振興」と「地域の再生」という二つの視点を重視。四つの成長戦略を展開しています。成長戦略の第1番目に「中小企業振興、世界最先端の技術で産業形成、企業誘致の推進、観光立県山形の実現」を掲げて、産業の振興に努めています。なんと言っても本県経済の持続的な発展の原動力になるのは、基幹産業である製造業です。

この製造業界の活力なくして本県の成長はあり得ないとの考えから、製造業付加価値額1兆円という目標を掲げて、本年度からは、市場調査や製品開発、市場開拓にいたるプロセスを一貫して支援する「中小企業元気活力！プロジェクト」をスタートさせました。県内企業の皆さまには、この支援制度を活用していただき、新たな事業展開や新製品・新技術の開発などに積極的にチャレンジし、大いに成果を上げていただきたいと思います。また、本県の強みである有機エレクトロニクスや世界最先端のバイオ技術分野の研究成果を県内企業に橋渡しして、実用化・事業化された製品が本県の強みのある産業として集積されるようにしていきたいと考えています。

本県の「ものづくり」の源は、まさに「人」であり、ものづくりを担う人材の育成や働きやすい環境の整備に取り組んでいくことが肝要。2016年度に山形県で開催する「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」を契機に、若者が将来ものづくりの仕事に就こうという意識を醸成するとともに、技術・技能を高めていきます。山形県はじめ東北の「ものづくり」の発展につなげていきたいと思っています。

こうした中、県は「ものづくり」のほか、「商業・まちづくり」や「観光」なども含めた産業全般にかかる今後のビジョンを示すため、県は本年度に、新たな「産業振興プラン」を策定します。盛り込むべき内容などについて県産業構造審議会で審議いただいています。策定にあたっては本県産業のあるべき方向性をしっかりと見定めるとともに、担い手である中小企業の振興、そして人材の確保・育成という観点を重視しながら、産業の振興に全力を尽くしていきたいと考えています。

有機エレクトロニクス産業集積の促進、バイオクラスター形成など競争力強化

スズキハイテック社長　鈴木　喜代壽氏

山形県は競争力を持つ産業群の形成に力を入れています。県内産業におきまして、モノづくり産業は大きなウエートを占めています。そうした中、先端的な技術分野の成長が期待されてもいます。

有機ELを中核とする有機エレクトロニクス関連産業の集積では、山形大学など産学官金の連携が深まってきています。

全県的な体制構築

吉村知事　世界最先端の技術が山形県には二つあるということを私は県外や海外に行くとよく話しています。県では山形大学工学部の有機EL技術などを中心に有機エレクトロニクス産業の集積を促進していくため、その中核となる有機EL照明パネル製造事業会社がしっかり県内に定着していくよう、性能向上や低コスト化を目指した技術開発をサポートしています。

その結果、明るさが向上し、LED並みの寿命を持つ照明用有機ELパネルが開発されるなど、技術向上が着実に進んでいます。また、有機EL照明の県有施設などへの先導的導入の取り組みとも相まって有機EL照明器具製造に関わる県内企業が徐々に増加。現在45社になっています。製品製造のノウハウも蓄積されてきています。しかしながら、ビジネスを行う上での前提となる市場が依然として未形成の状態にあるため、演色性が高く紫外線が発生しないといった有機EL照明の特性を活かせる美術館・博物館などの分野を先行して開拓。併せてこうした分野に製品を供給する県内企業の体制の構築を進めていくことが必要と考えています。

また、バイオクラスター形成促進では、慶応義塾大学発ベンチャーによる新素材開発などが注目を集めています。

こうした先端技術をいかに活用して新産業への道を開いていくのか。用途開発など県内企業の競争力強化に向けた関連施策の取り組みについてご意見をうかがいたいと思います。

バイオクラスター形成に向けた取り組みについては、慶応義塾大学先端生命科学研究所（鶴岡市・慶応先端研）の医療、農業、食品、環境など幅広い分野における先導的な研究成果を活用したバイオ関連産業の集積促進を図っています。具体的には、同研究所の研究成果と企業ニーズを結びつける役割を担う「産学連携推進コーディネーター」の配置や、共同研究の実施に取り組む県内企業に対する助成を行っているところであります。

こうした中、慶応先端研発のベンチャー企業であるスパイバー（鶴岡市）が次世代素材として注目されている「合成クモ糸繊維」の量産化基本技術を世界で初めて確立し、現在事業化に向けて精力的に取り組んでいるところであります。今後、この合成クモ糸繊維を核として、その研究拠点の形成や関連産業の県内集積を図っていくため、今年6月に私をトップに、地元鶴岡市や関係企業、産業支援機関などにより構成する「山形県合成クモ糸繊維関連産業集積会議」を立ち上げました。同集積会議を軸にして、産学官金を挙げた全県的な支援体制を構築しながら、しっかりと合成クモ糸繊維の事業化・産業化に向けた取り組みを支援していきます。

平成26年度地域環境保全功労賞 受賞
NittoBest
未来の食生活をみつめて
日東ベスト株式会社
本　社／山形県寒河江市幸町　☎0237-86-2100㈹
営業本部／千葉県船橋市習志野　☎047-477-2110
爽健亭事業本部／神奈川県横浜市鶴見区寛政町　☎045-521-1251
札幌支店／東北支店／東京支店／名古屋支店／大阪支店／広島支店／九州支店／寒河江工場／高松工場／東根工場／大谷工場／天童工場／本楯工場／神町工場／山形配送センター／習志野配送センター／関西配送センター／九州配送センター／学校給食センター
http://www.nittobest.co.jp

Pioneer
東北パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員　峯田裕之
〒994-8585　山形県天童市大字久野本字日光1105
TEL 代表 023-654-1211
http://www.pioneer.co.jp/topec/

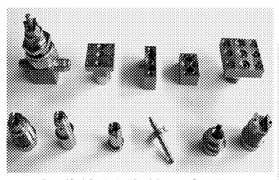
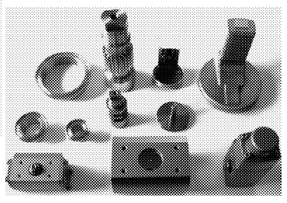
熱処理
専門工場
金属表面硬化、調質、真空炉、焼鈍、黒染、パーカー、窒化、軽合金、金型焼入
イネツ
(株)伊藤熱処理
本社工場　山形市銅町1丁目8－38　電話(023)622－9452㈹
イネツ仙台　仙台市若林区六丁の目元町8－18号　電話(022)288－6118㈹
伊熱いわき　いわき市常磐関船宮下41－1　電話(0246)44－5690
石川工場　福島県石川郡石川町字大橋2－17　電話(0247)26－0882
鐵に魂を入れる
山形本社工場　イネツ仙台　石川工場　伊熱いわき

夢をみつめ 科学がつくる 未来
ナルセは科学の商社として分析機器、電子計測機器、信頼性試験機器、等の販売と情報提供を通じ東北の未来づくりに貢献しています。
科学計測機器商社
株式会社 ナルセ
代表取締役　佐藤正幸
営業所：酒田・仙台・郡山
本社／〒990-0046 山形市大手町8-20 TEL 023-622-5052 FAX 023-623-2873
http://www.naruse-co.com

あなたのご要望にお応えいたします
1944-2014 70 YEARS おかげさまで創立70周年 TOHOKU 未来 未来への光
Yurtec
株式会社ユアテック山形支社
執行役員支社長　國府 俊吾
〒990-0073　山形市大野目3－5－7
TEL：023-632-3131　FAX：023-626-1357
営業所／山形・寒河江・天童・新庄・米沢・酒田・鶴岡

GET good Future with CS
半世紀以上の歴史の中で培われた超精密微細加工技術に加え、ハード・ソフト双方の最先端技術を蓄積。国内事業所と海外事業所のシナジー効果を高め、「エンジニアリング」と「グローバリゼーション」をキーワードに品質と防災の徹底により、安全と安心を添えたMTEXブランドを世界に向けて発信し、未来を見据えたワールドワイドな事業展開を図ります。

お客様とともに未来を築く
エムテックスマツムラ株式会社
●本社・天童事業所
〒994-8501　山形県天童市北久野本1-7-43　TEL023-654-3211㈹　FAX023-654-9088
●尾花沢事業所
〒999-4231　山形県尾花沢市北町2-2-2　TEL0237-22-1151㈹　FAX0237-22-1150
〈関連会社〉㈱新庄エレメックス／エムソフト㈱
MTEX(VIETNAM) CO.,LTD

半導体製造装置・自動車部品・繊維機械部品
一般産業用機械精密部品の製造

半導体製造装置部品
空気圧トルクアクチュエーター

株式会社 伊藤製作所
代表取締役社長　伊藤明彦
本社・工場
〒990-2445　山形市南栄町一丁目5番16号
電話　023-642-0255
FAX　023-641-6996

エレクトロニクス・自動車分野を支える表面処理技術
確かな表面処理技術で環境に貢献
私達はナノレベルの表面処理技術開発により、先端技術開発と地球環境の保全を行ないます。
JQA-QMA10902　JQA-EM1542
事業部門
■電子部品めっき部門
■自動車部品めっき・化成処理部門
■塗装部門

尾長島工場
スズキハイテック株式会社
本社・工場／〒990-0051 山形市銅町2－2－30　TEL.023(631)4703
尾長島工場／〒999-0213 川西町大字尾長島740－12　TEL.0238(54)3615